

令和3年度 放課後子ども教室における新型コロナウイルス感染症対策について

今年度の「放課後子ども教室」は、昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対して以下のとおり最大限に配慮して活動します。

これは、文部科学省が示した【学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～】（2020.12.3ver.5）に基づくものです。（令和2年12月改正最新版）

なお、国や北海道から、新たな情報や知見が得られたことにより指針等が改正された際には、新たな指示に従うものとします。

①児童及び運営スタッフ全員の検温、及びアルコール消毒の徹底

- ・体育館に入室する際に、参加者全員に対する検温と手指のアルコール消毒を行います。
- ・トイレの後、及び教室の終了後に、参加者全員の手指のアルコール消毒を行います。（なお、トイレを含め、一時的に体育館から出た児童全員にスタッフが対応します）
- ・体育館内で子どもたちが手を触れると考えられる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ、机、ゴザ等）は、使用前にアルコールまたは効果が確認されている消毒液等にて消毒を行います。

②マスクの着用

- ・参加者は全員、咳エチケット【マスクの着用】を行うよう徹底しますので、保護者様におかれましては、児童のマスク着用についてご指導ください。（ただし、夏場の室温が高い状況下の体育遊びについては熱中症を考慮し、運営スタッフが必要に応じてマスクを外すよう指示します）

③使用器材の消毒の徹底

- ・軽スポーツで用いるラケット等の器具、フラフープ等の遊具、工作等で使用する筆記用具やハサミ等の文具は、使用前のほか使用中も適宜消毒を行います。

④対人距離の確保

- ・アナウンス、整列、着座、運動する際の参加者同士の距離は、1～2m離します。
- ・自主学習や工作等を行う際に、参加人数に応じてゴザと机のスペースを広くし、密集しないよう注意を払います。

⑤換気の実施

- ・体育館の入り口のドア等を開放するなど、可能な限りの換気を行います。

⑥活動内容の制限（飛沫の防止等）

- ・昨年度と同様に、活動内容の制限を今年度も行います。

活動内容	従前	昨年度	今年度	感染対策の内容
競技・遊戯等				
鬼ごっこ てんか	○	×	×	児童に人気のある遊戯であるが、人と人との距離確保が非常に困難なうえ、短時間でも呼気が激しくなることから中止
ドッチボール	○	×	×	児童に人気のある競技であるが、ボールが常に共有され、人と人との距離確保が困難なうえ、短時間でも呼気が激しくなることから中止
ミニバレー	○	△	△	複数名でボールを共有する競技であるが、ルールを決めることで対人距離の確保は可能であり、感染状況を見て再開を検討する。
サッカー指導	未実施	△	△	ボールを原則手で触れることはなく、呼気が激しくならない程度の技術指導とすることとして、感染状況を見て再開を検討する。
ラケットボール	未実施	○	○	器具は使用前ほか適宜アルコール消毒し、対面距離を十分に確保したうえで1対1のプレイとする。
バドミントン	未実施	○	○	同上
フリスビー (ドッチビー)	○	△	○	器具が軟質なため使用者毎に器具を消毒することが困難であるが、対面距離の確保が容易な競技であり、常に2～4名の少人数単位でのプレイとし、競技後は手指をアルコール消毒すること。 (ドッチビーとしての競技は中止)
大縄跳び	未実施	○	△	密集して行う競技のため当面中止とするが、感染状況を見て再開を検討する。
フラフープ	未実施	○	○	器具は使用前にアルコール消毒しておき、適宜消毒しながら使用する。
けん玉など小遊具	未実施	○	○	同上
レゴブロック	○	×	×	児童に人気のある遊具であるが、複数人で共有して使用するため。また、部品が細かく多量でありアルコール消毒が困難なことから使用中止
ピタゴラス	○	×	×	同上
工作・ぬりえ等	○	○	○	筆記用具、ハサミ等の文具はできるだけ使い回すことなく、適宜アルコール消毒しながら使用する。また、ゴザのスペースを昨年度より広く設け、床フロアで直接作業しないようにする。

○実施する

×中止する

△感染レベルの情勢により実施を判断する